

出張医学教育FD(諏訪赤十字病院)

【日 時】平成27年6月8日(月) 18:00~18:30

【場 所】諏訪赤十字病院

【参加人数】73名

【内 容】

○信州大学の新しい臨床実習

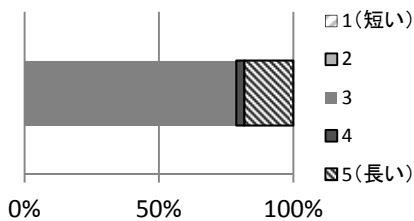
- ・150通りの選択肢からなる参加型臨床実習について
- ・学生が行うことのできる医行為について
- ・臨床実習の指導医

○学生の評価について

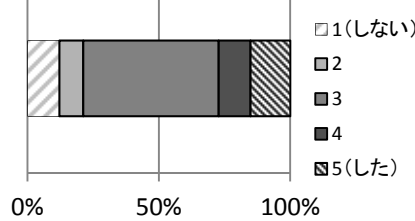
- ・ポートフォリオについて



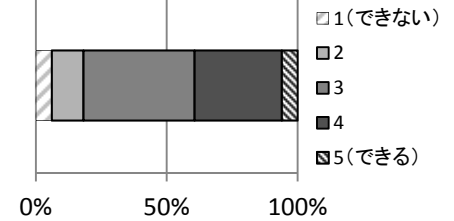
FDの開催時間はいかがでしたか。



FDはニーズにマッチしましたか。



学生の評価ができるようになりますか。



参加者の意見

FDで分かったこと	FDで疑問が残ったこと	ご意見
シソーケースポートフォリオが理解できた。(複数あり)	ポートフォリオ	教授の採点もした方が良い。
イメージできない。	ポートフォリオの内容がよくわからない。行動レポートは実習、研修に真面目に参加したかどうかの指標となり、いい点だと思いました。	研修医よりも手厚い指導になっているという矛盾を感じる。
講演の流れは良かった。	この制度で学生が病院実習への取り組みをどのように変えるのか。スケッチは誰が描くのか。	侵襲的行為の内容は選んで学生に体験させる方が、学生のモチベーションが上がると思います。
学生の評価が複雑だということ。	評価方法。	
学生の評価がより厳密なものとなる。	本当に学生はここまでやる気があるのでしょうか。	
学生の到達目標を明確にするのはとても良いと思う。	評価の具体例を示してもらえともっとわかり易いと思う。	
学生に行わせる実習内容。	評価の方法。フィードバックはどうしたらいいのでしょうか？	
思っていたより、だいぶ負担が減った印象。	具体的な流れ。	
システムが煩雑になった。	何でコロコロ、1~2年で変えるのでしょうか。(厚生省の方針なのでしょうけれど..)	
学生カルテの記載方法が理解できた。	ポートフォリオの具体的なサンプルがあるとわかりやすかった。	
制度が変わるということ。		
カリキュラムが変わったこと。		
学生の評価が出席レポートのみでなく、指導医の評価も含めて決定される。		
学生にプロセスを理解させる、体験させることが大事ということ。		